

みなみん

学校標語 「笑顔かがやき 優しさいっぱい」

練馬区立南田中小学校
校長 原田 知樹

NO. 44

☆みなみん学級「6年生ありがとうの会」☆

3月17日（水）に、「6年生ありがとうの会」をプレイルームで行いました。

以前、学級通信でもお知らせしましたが、4～6年生が下級生のために、魚釣りゲームのお店屋さんを企画してくれました。1～5年生は、その時の嬉しい気持ちを覚えていて、今度は、「6年生のためにお店をやりたい！」という思いが出てきました。そこで、サプライズでお店さんを企画しました。今回は、3つのお店を開くため、リス班の子供たちは、それぞれコアラッコ班、うさぎ班、マリーゴールド班の3つの班に入り、取り組みました。

はじめに、各グループで、どんなお店を開くのか、話し合いました。話し合いの結果、コアラッコ班は「輪投げ屋さん」、うさぎ班は「シューティング屋さん」、マリーゴールド班は「ボーリング屋さん」に決まりました。次に、どんなものが必要なのか、どのようにするのかなどを話し合い、ワークシートにまとめました。「輪投げの輪は新聞紙をねじってつくろう！」「シューティングだと的が必要だ。」「賞状がほしいな！」など、それぞれのお店で必要なものを考え、作りはじめました。子供たちは、一生懸命、思いを込めてつくっていました。お店で使うものが一通りそろると、今度はルールについても話し合いました。「案内をする人が必要だな。」「ベルを鳴らした方が終わりが分かりやすい！」など、4、5年生は前回の魚釣りゲームの経験を生かしながら、お店の準備を進めていきました。

当日は、子供たち一人一人が自分の役割を理解して、生き生きと活動していました。お店屋さんが終わった後には、1～5年生からは「卒業は寂しいけど、6年生が笑顔になってくれてうれしかった！」と、6年生のために一生懸命取り組めたことを喜んでいました。6年生からも「楽しかった！」の声が聞こえました。

その後、下級生から6年生のために作った、ランチョンマットと似顔絵をプレゼントしました。6年生からは、1～5年生のために作った、雑巾が贈られました。最後にくす玉を割り、子供たちからの感想の発表で会を締めくくりました。

上級生を慕う下級生の温かい気持ちが形となって表れた、すてきな会となりました。